世間話

171　キジムナーの胸押え（イ）

私が十五か六ごろの年頃でした。夜寝たらね、まあ、一睡ぐらいしてから、必ず夜中の二時ぐらい、いつも。いつもって三回ぐらい起きます。そんで、女の子がもうおかっぱしてよ、絣みたいな着物を着てよ、来たな思ったらもう上から押されたか何か知らんけども、息苦しくなって、うなるんですよ。ほんであの、家族がね、

「どうしたの」って言うんですよ。それまでにはもう、キジムナー（木の精）がおらんようになって、こうこう言うたら、

「それは、古い木の根っこから出てくるから」言うて、その根っこ、切って捨てたら押されんようになったけど。そんだけの話です。

字真栄里　比嘉スエ

類話

字武富　長嶺悦子、大城キヨ
字兼城　大城ウシ
字与座　伊敷弘吉
字名城　新垣亀栄
字新垣　山城栄正
字伊敷　殿内ハル
字糸洲　神里カマ
字南波平　伊集スエ、山城カナ
字東里　下田ミツ（上里区）
字福地　上良正光　渡口　広
字摩文仁　平田金徳